

japan elevator service

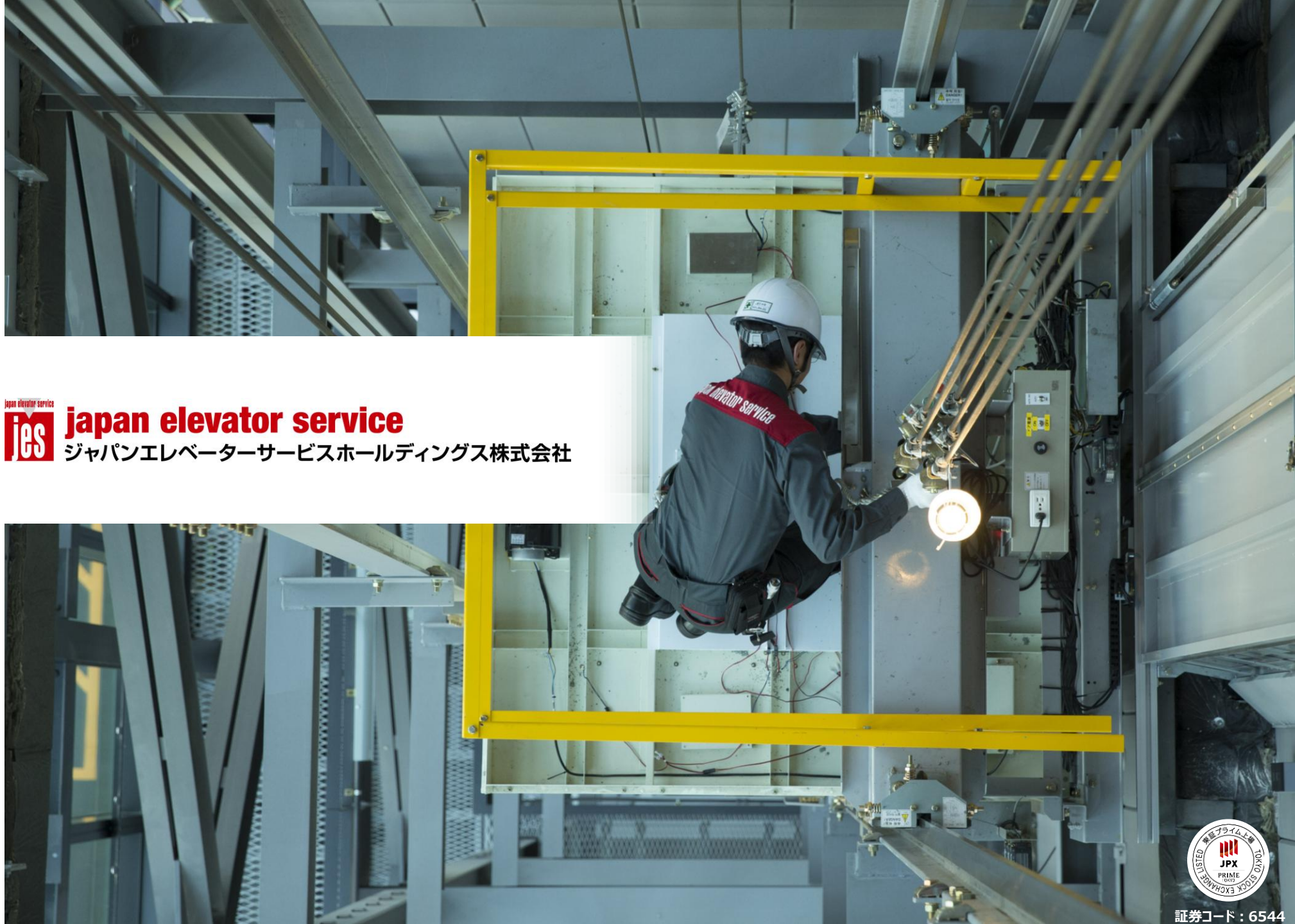


japan elevator service

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社



証券コード：6544



japan elevator service



japan elevator service

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社



証券コード：6544



会 社 名 : ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

設 立 : 1994年10月

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 CEO 石田 克史

資 本 金 : 25億6百万円 (2026年3月末時点)

本 社 : 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル5階

売 上 高 : 連結576億1百万円 (2026年3月期)

従業員数 : 連結2,443名 うち エンジニア数1,578名 (2026年6月末時点)

上場市場 : 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード : 6544)





何よりも安全のために。

見えないからこそ手を抜かない。

信頼を礎に。

営業所数
全国 **158** 拠点

※2026年6月1日時点



独立系唯一の研究開発施設/パーツセンター



埼玉県
(和光市)

JES innovation center (JIC)

- ・ 約50mの高層テストタワー
- ・ テスト用エレベーター4台、コントロールセンター、パーツセンター、教育施設やリニューアル制御フロアなどを備えた独立系初の大型施設



埼玉県
(和光市)

JES innovation center Lab (JIL)

- ・ 約33mの高層テストタワー、テスト用エレベーター6台
- ・ 研究開発機能の向上としてR&Dセンターなどを集約
- ・ 海外調達部品の性能検査能力を強化した独立系唯一の研究開発施設



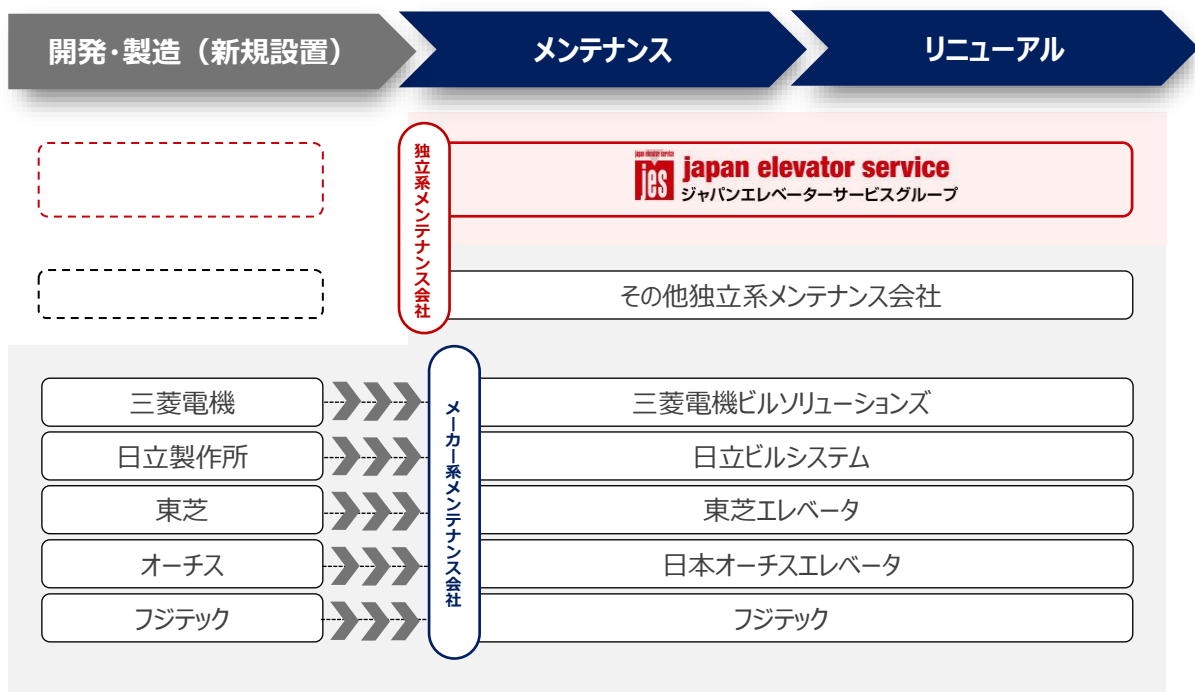
兵庫県
(宝塚市)

JES innovation center Kansai (JIK)

- ・ 西日本エリアのサービス品質向上、安定的なパーツ供給、緊急時の迅速な対応を目的として、パーツセンター、研修施設、コントロールセンター、リニューアル制御フロアを兼ね備えた施設

JESグループのビジネス領域

国内で稼働する約118万台の昇降機のうち、約80%はそれをメーカー系のメンテナンス会社がメンテナンスを行なっています。残り約20%を担うのがJESグループを含む、開発・製造プロセスをもたない「独立系」とよばれるメンテナンス・リニューアル専門の会社となります。



POINT !

メーカー系列：開発・製造（新規設置）からメンテナンス・リニューアルまで、自社グループで実施

独立系：開発・製造（新規設置）を行わず、メーカーに縛られずにメンテナンス・リニューアルを実施

保守契約台数シェア ※当社調べ

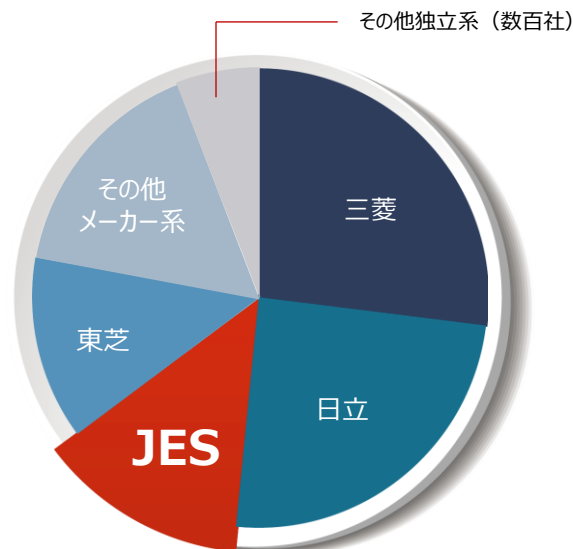
POINT !

メンテナンス業界全体で第3位のシェア

JESグループの国内保守契約台数シェアは約10%で第3位（当社推計）。独立系メンテナンス会社のみでのシェア率は50%となり、圧倒的なシェアを有します。

国内昇降機保守台数 約 **118** 万台

※2026年3月末時点の推計



JESグループ保守管理台数 131,150台 ※2026年6月末時点



保守契約台数（国内）

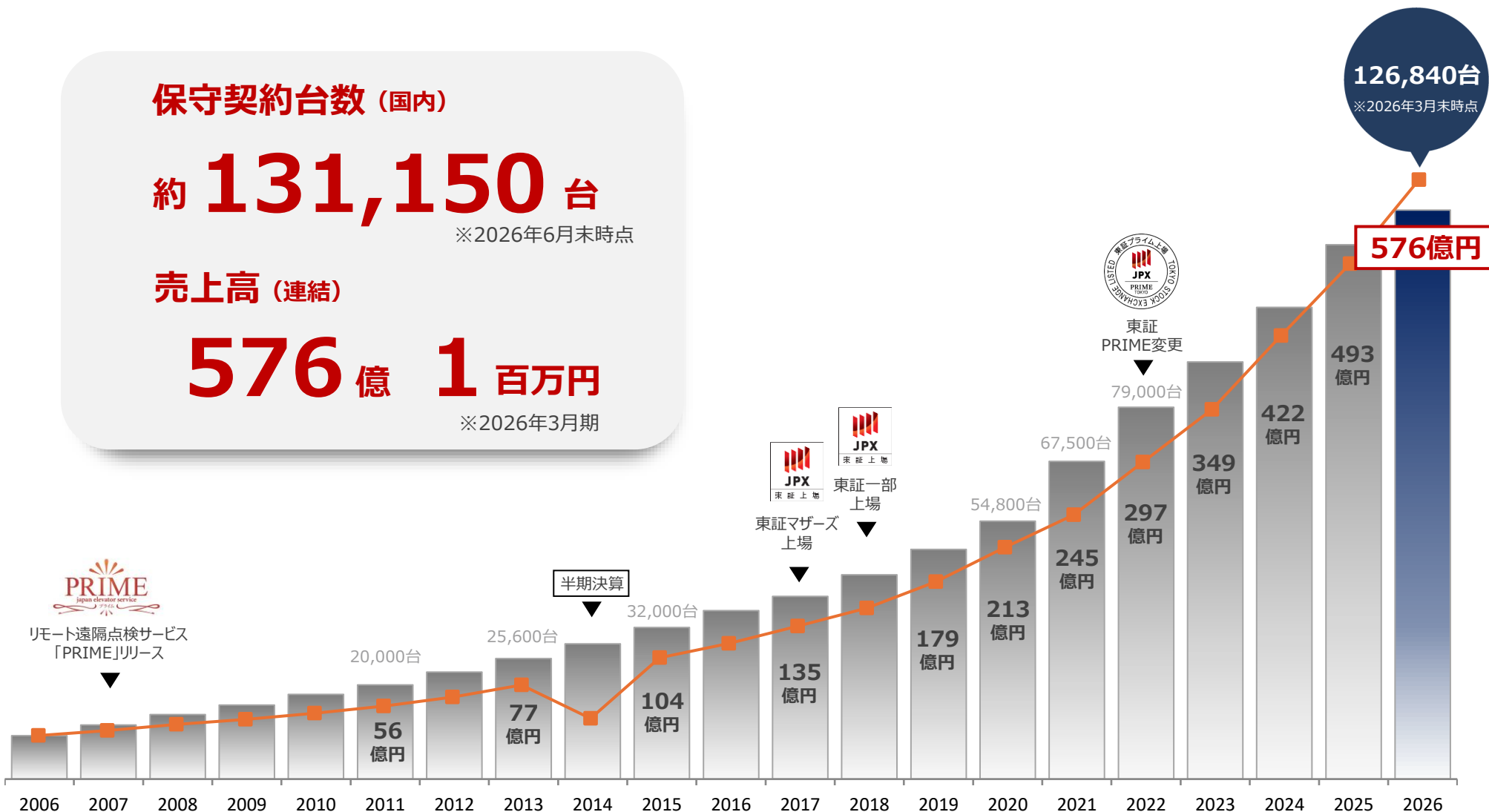
約 **131,150** 台

※2026年6月末時点

売上高（連結）

576 億 **1** 百万円

※2026年3月期



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。

* 2015年3月期以降は連結決算。

01



保守

日常の安全を支える、
定期点検と遠隔監視体制

02



保全

設備の劣化や故障に備える、
予防的な維持対応

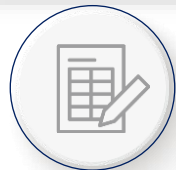
03



リニューアル

機能性・安全性・快適性を
高める設備更新

保守業務内容



法定検査

建築基準法及び労働安全衛生法に定められた基準に従い、各種検査を行います。



定期点検

清掃・注油・調整や、消耗品の補充・交換等を行います。



緊急対応

万が一緊急で対応が必要になった場合、すぐに対応します。



監視サービス

異常・不具合の有無を調査・遠隔監視・遠隔点検等のサービスを提供します。

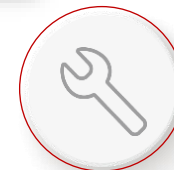
P.O.G 契約 (パーツ、オイル、グリース)

保全業務内容



部品の取り替え

必要に応じて適宜部品の取り替えを行います。



故障修理対応

点検結果に基づく合理的な判断のもと故障修理を行います。

FM 契約 (フルメンテナンス)

保守業務における当社の基準と方針



POINT !

建築保全業務共通仕様書（国土交通省）準拠の点検内容

メーカー取扱説明資料などを踏まえた独自点検マニュアル完備。高品質な点検を実現。

法定検査をクリアするための点検方法

- 01 建築保全業務共通仕様書
- 02 保守点検マニュアル
- 03 点検チェックシート

各機種の取扱方法や経験事例を点検に活用

- 04 5大メーカー取扱説明書
- 05 調整指針・故障事例報告書

法定検査結果・定期点検報告

- 06 保守・工事作業報告書



JESが提供する「適正価格」の理由

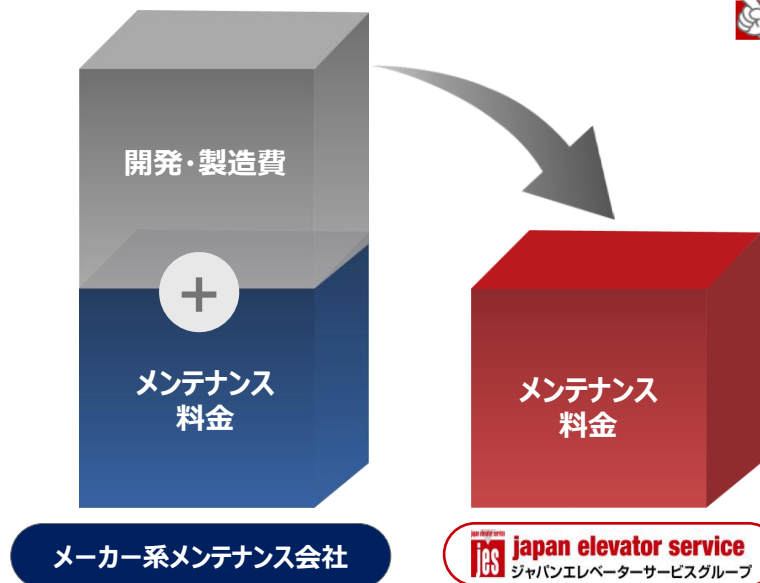
メーカー系メンテナンス会社料金

- 自社製品のみを自社グループ内でメンテナンス実施
- 本体の販売価格（開発・製造・設置費）を抑え保守・点検・部品交換などのアフターサービスで長期的に利益を回収するモデル
- メンテナンス費用には開発・製造コスト・新規設置時の費用も含まれており、高額になりやすい傾向

メーカー主導の価格設定との根本的な違い

- 開発・製造・新規設置を行わないメンテナンス専業
- 料金は純粋にメンテナンスに必要な工程・サービス（保守品質・技術力・対応スピード）に基づいた透明性の高い設定
- 特定メーカーに縛られず、幅広い機種のメンテナンスに「適正価格」で対応

メンテナンス料金の構造



POINT !

「安い」ではなく「適正価格」

開発・製造・新規設置を実施しないからこそこのメンテナンス価格設定

「適正価格」かつメーカー同等品質のサービス提供

メーカー同等の保守品質・技術力・対応スピード

従来の業界の常識を超えたサービス提供

価格と品質の両立により、より多くのお客様に保守会社の選択肢を提供

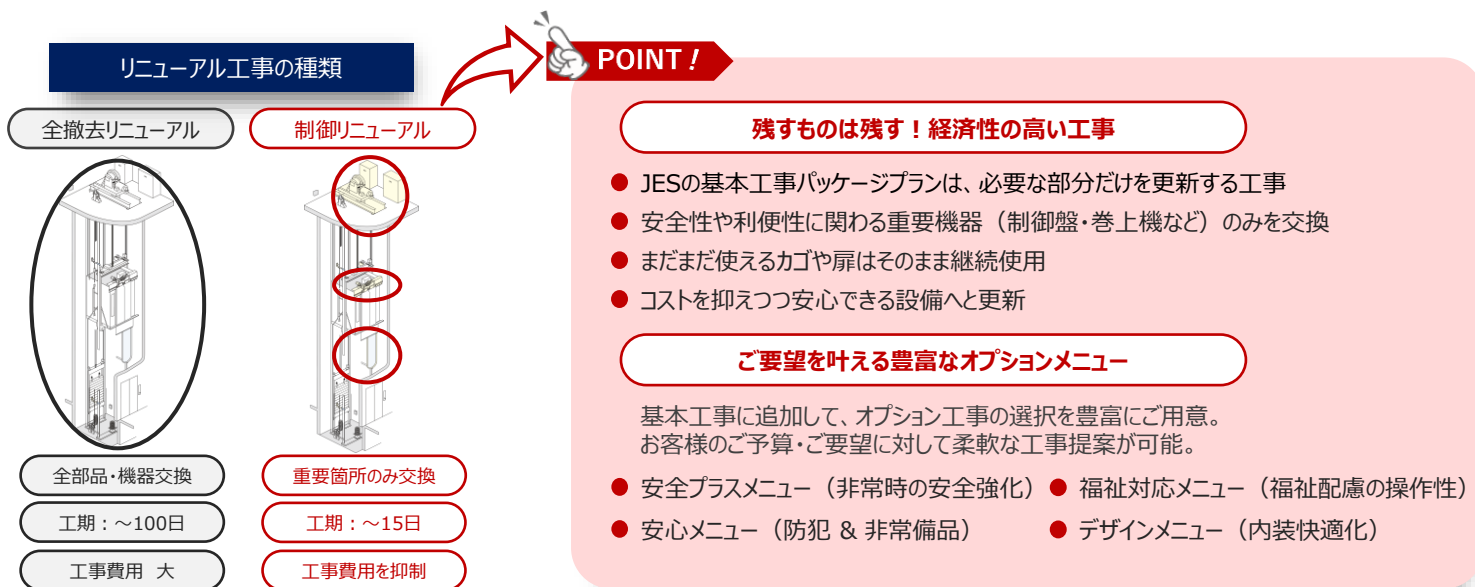
リニューアル工事の必要性

設置から20年程度経過したエレベーターは、経年劣化による故障や不具合の頻度の高まりや、メーカーからの部品供給停止により、いざ故障となった場合、修理ができないなどの復旧不可リスク（長期停止）が高まります。



JESのリニューアルは「必要なものだけ」をリニューアル

エレベーターのリニューアル工事には一般的に、部品や機器を全て入れ替える「全撤去リニューアル」、巻上機や制御盤・配線などの制御系と呼ばれる重要部分のみを交換する「制御リニューアル」があり、JESでは経済性の高い制御リニューアルに対応しています。

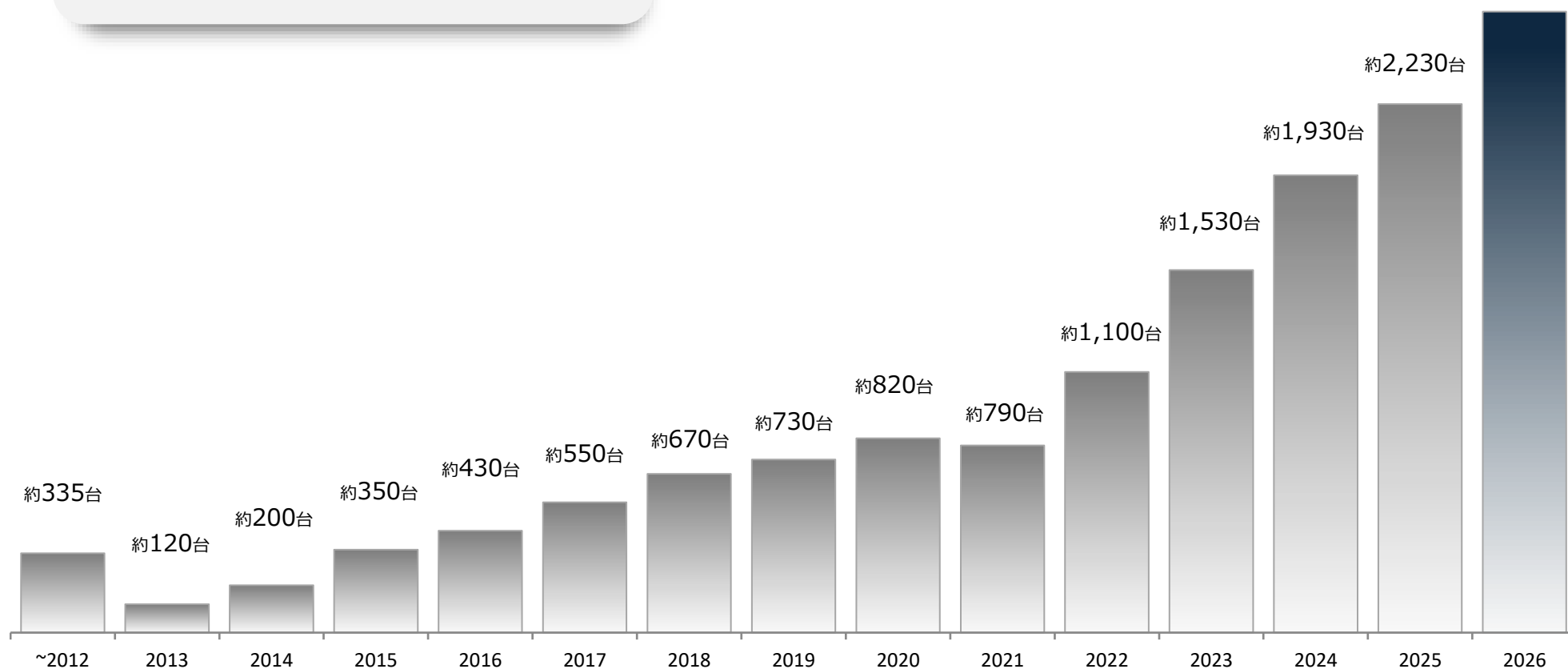


リニューアル工事実績台数

約 **15,100** 台

※2026年6月末までの累計

約 **2,620** 台
※2026年3月末時点



01



緊急時・災害時の対応

独立したコントロールセンターと
JESコア技術「PRIME」による、
24時間365日の監視・指令体制

02



部品供給体制

独自の広域物流網による豊富なパーツ
在庫で、地域を問わない迅速かつ安定
的な部品供給体制

03



テクニカルサポート

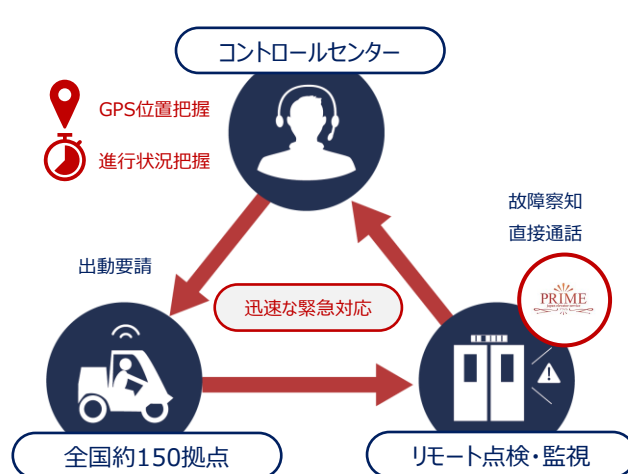
独自教育プログラムと資格制度による、
技術員の対応力・品質の継続的な
強化体制

JESコア技術「PRIME」でより迅速な対応が可能に

JESグループは、独立系エレベーターメンテナンス会社で唯一となる、メーカー系メンテナンス会社と遜色ない独自のリモート遠隔点検サービス「PRIME」（遠隔診断・遠隔監視含む）を開発・提供しています。

PRIMEによるエレベーターのリモート（遠隔）点検・診断・監視結果はコントロールセンターにて逐次管理され、サービス拠点との連携によってスピーディーな対応が可能となります。

PRIMEによってエレベーターの異常を検知した場合は、コントロールセンターからGPSで最寄りのエンジニアを特定、出動指示を出します。



POINT！

JES独自開発 PRIME ※特許取得

- 24時間365日お客様のエレベーター運転状況を監視。故障・異常予兆を察知
- 運行状況やコンディションの把握による故障発生率の軽減
- リモート点検によりエレベーターメンテナンスによる停止期間が減少

コントロールセンター

- 24時間365日、お客様対応が可能
- リモート点検・診断・監視結果を逐次管理
- GPSによるエンジニアの位置把握・リアルタイムでの進行状況把握

PRIMEの機能

独立系メンテナンス会社で唯一！



※国内主要メーカーに対応。一部PRIMEを設置できない機種の場合は、遠隔点検・遠隔診断を除いた「PRIME Lite」の設置を行います。

平常時の備えとシステム体制で災害時も迅速対応

JESグループでは地震・台風など災害が発生した場合、発生状況から災害レベルを決定し、災害対策本部を立ち上げます。本部は即座に災害システムを起動し、災害状況の把握に努める体制となっています。災害に備え各グループ会社では、年一回災害訓練を実施し、受電から手配までのシミュレーションを行っています。さらに事前準備として、顧客情報の整備や冠水復旧セットなど必要機材の準備を確認しています。

POINT !

対応予定の可視化

対応体制が見えることで、安心感と初動の速さを両立

位置情報の即時確認

物件の場所をすぐ把握でき、迅速な現場到着を実現

近隣情報の自動抽出

周辺の対応漏れを防ぎ、効率よく復旧対応が可能



※災害システム起動時のイメージ

JES災害時対策フロー



POINT !

WES (Web Entry System) / 災害時Web受付システム

地震・台風などの災害時、携帯電話などから二次元コードを読み取ることで緊急通報を可能にする、JESグループ独自のweb受付システム。電話回線ではなくインターネット回線を使用するため、災害時もアクセスが可能です。



災害時の対策 (BCP)

BCP (Business Continuity Plan)

自然災害など、予期せぬ緊急事態に遭遇した場合に、重要業務に対する被害を最小限にとどめ、事業活動の継続・早期復旧を行うため、事前に策定する行動計画のことを指します。

電源車による電力供給

万が一、81時間の非常用発電機の電源が切れたとしても電力供給が途絶えることのないよう、電源車の接続が可能。※JIC・JIK対応



非常用電源

停電時は非常用発電機を作動し、JIC : 81時間、JIL : 84時間、JIK : 78時間の電力確保を実現。

太陽光発電

屋上にソーラーパネルを設置し、非常用発電に使用する電力を補充。低コストでクリーンな上、無尽蔵のエネルギー源を確保。

独立系最多のパーツを効率よく低コストで提供

JESグループでは、各メーカーのあらゆる機器メンテナンスに迅速対応するため、全国8か所にパーツセンターを設置しています。パーツエンジニアも24時間365日、休日夜間を問わず常に待機。故障や停止などの緊急トラブルにも、素早い部品出庫体制を確立し、迅速に復旧できる環境を整備しています。



POINT !

独立系最多の純正パーツストック

消耗度・故障率等のデータに基づき、必要なものを効率的にストックして、部品の安定供給を実現

JIC・JIKを含む全国8箇所にパーツセンターを配置

各拠点へ迅速に部品を供給できるよう、全国規模の流通網を保有

部品供給停止機種へのスムーズな対応

各メーカーの部品供給停止物件にも対応できるよう、リサイクルパーツやリファービッシュ品の入手にも力を入れ、常に最良の状態で管理を実施

JES認定リファービッシュ品



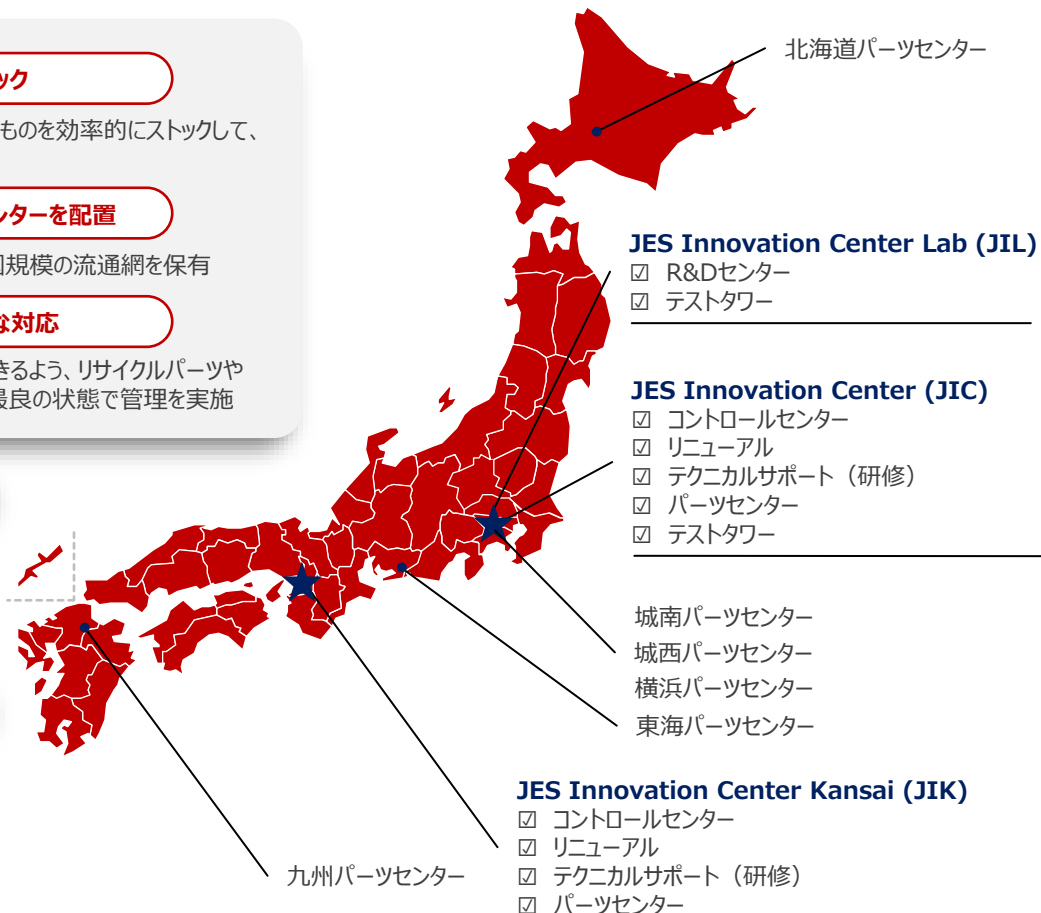
- 新品同等性能へ整備
- JES独自の3年保証
- 高品質かつ低コスト

パーツストック

約 **40** 万種

約 **70** 億円

※2026年3月末時点



こだわり抜いた研修で本物のエキスパートを育成

様々な機種に対応できるマルチ・スペシャリストを育成していくため、主要メーカーそれぞれの機種に精通した熟練エンジニアのノウハウと、長年の経験をもとに、他社にはない非常に完成度の高い研修制度を構築・実施しています。



POINT!

独自の教育プログラムと社内資格制度

各メーカー製品の基礎知識・ノウハウを確実に習得する新人教育「STEP24」と、JESグループ独自のエンジニア評価資格制度

STEP24

G1・G2

マイスター制度

継続的な社内研修

各メーカー機種の特性理解・法定検査やリニューアルの実機研修など多種多様なカリキュラムを、技術の習熟度に応じて継続的に実施し技術力向上を図る

故障対応のプロ育成・社内最高資格



技術力を
深める

推薦を得た技術者のみが本所で2年間の教育プログラムを受け、高度な故障対応力・安全管理技能を習得する「マイスター制度」。知識・技術力をポイントとして見える化した社内資格制度「G1・G2」では保守・検査・工事の3分野の総合技術力において最高位の社内資格で、後進の育成・技術継承の役割を担います。

メーカーごとの違いと故障修理



～1年

国内主要メーカー各機種に応じた幅広い知識を学び、故障や異常などイレギュラーなケースにも対応できる実践力を身に付けます。

実務に沿った講義とOJT

～半年

それぞれの勤務地へ配属され、先輩社員との現場実習によって、講義で教わった知識を現場で実践します。独力でメンテナンス作業ができる状態が目標です。

昇降機の基礎知識と安全ルール

入社～
1ヶ月

まずはJESグループの社員として求められるビジネスマナーから始まり、昇降機の基礎知識・安全ルールについて、1から学びます。

